

造影検査説明・問診・承諾書

■造影検査を受けられる方へ

現在の状態をより正確に診断するために、造影剤を使用した検査が必要です。
造影剤を使用することで、通常の検査では分かりづらい病気などを、はっきりさせることができます。
ヨード系造影剤は安全な薬剤ですが、まれに副作用が起こることもあります。
副作用の種類については次のようなものが挙げられます。

1. 軽い副作用 吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などで、基本的に治療は必要ありません。
このような副作用が発生する確率は、約100人につき5人以下。
2. 重い副作用 血圧低下・呼吸困難・意識障害などで、点滴・昇圧剤・抗アレルギー薬などの治療が必要です。
このような副作用が発生する確率は、約1000～2000人に1人。
非常にごくまれに生命に係わる副作用（意識喪失・心肺停止など）を引き起こす可能性があります。
このような副作用が発生する確率は、約10～20万人に1人。
3. 遅発性副作用 検査終了数時間後～数日後にも発生する場合があります。
発疹・発赤・じんましん・悪心・頭痛などの症状が主なものですが、まれに重症例の報告もあります

■検査室において造影剤使用時に関して

1. 造影剤が体内に入ると体が少し熱く感じることがありますが、心配はありません。
2. 造影剤を注入する際、血管外に造影剤が漏れて腫れや痛みが生じることもありますが、基本的には時間が経てば吸収されます。

〈造影検査を行なうために必要な問診〉

※「ある」を選択された方は項目内の適したものを○で囲み（ ）内に記入してください。

1	今までに造影剤を用いた検査を受けたことがありますか？ CT造影・MRI造影・血管造影・その他（ ）	ない	ある
2	その時に具合が悪くなったことはありますか？ 吐き気・嘔吐・発疹・かゆみ・頭痛・呼吸困難	ない	ある
3	今までに、飲み薬や注射薬で具合が悪くなったことはありますか？ 薬品名（ ）症状（ ）	ない	ある
4	アレルギー体質、またはアレルギー性の疾患はありますか？ 疾患名（ ）薬品名（ ）食品（ ）	ない	ある
5	以下の病気があると言われたことがありますか？ 重篤な腎機能障害・重篤な肝機能障害・甲状腺疾患・気管支喘息・じんましん	ない	ある
6	糖尿病のお薬を服用していますか？ 薬品名（ ）※ビグアニド系糖尿病薬は検査前後ともに48時間の内服中止	ない	ある

下記患者さまに対し、造影剤の必要性と起こりえる副作用について説明を行いました。

説明日 年 月 日 説明医師名 _____

(造影検査承諾書)

私は、造影検査の必要性と副作用の説明を受け理解しましたので、その実施について

同意します

同意いたしません

また、副作用により緊急の処置を行う必要が生じた場合は、適宜処置を受けることを了承します。

承諾日 年 月 日

本人 ご署名

(代理人ご署名)

(代理人様続柄)